

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	救急情報セット活用支援事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	高齢者生きがい推進課			
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		主管課長	横山 友二			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内在住の65歳以上の高齢者のみの世帯及び障害者手帳を取得している希望者	意図	市内在住の65歳以上の高齢者のみ全世帯及び障害者手帳を取得希望者へ配布
事業内容	あらかじめ緊急連絡先やかかりつけの医療機関、持病や服薬などの情報を記入し、保管容器に入れ冷蔵庫に設置しておくことで、119番通報で駆け付けた救急隊員が、記入してある情報をもとに、本人が意識のない場合でも迅速な救急・医療活動を行えるように備えるものである。			
事業開始から現在までの状況変化	平成25年度に1,000本購入し、平成28年度に800本購入した。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		配布数	229	348	362	本	
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						救急情報セットを設置することで、迅速な救急活動が行え、かつ高齢者等が安心感をもって日常生活を送ることができる。
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)				911,572			
事業費(b)(円)				225,072			
うち一般財源				225,072			
職員給与費(c)(円)				686,500			
人役・職員(人)				0.10			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

事務事業の業務改善について

今年度(H28)の改善計画	必要な人に行き渡るように広報、ホームページ等により周知を図る。	取組の課題	ささえあい条例による地域の見守りの地区説明会においてもPRを図っていく必要がある。
今年度(H28)に実施した取組	救急情報セットを800本購入し、民生委員、自治会に協力をいただき必要な方に配布を行った。	今後の改善計画	広報、ホームページ等による周知のほか、民生委員、自治会に協力をいただき必要な方に配布する。